

2024年2月20日



サクラパックス株式会社、中小企業向け SBT イニシアティブの認定取得

温室効果ガスの排出量削減に取り組み、環境問題への対応を通じて、人々と地球に健全で豊かな未来社会の形成に貢献してまいります。

2024年2月1日、段ボール生産の一貫メーカーであるサクラパックス株式会社（本社：富山県富山市高木3000番地、代表取締役社長：橋本 淳）は、当社グループの2030年度に向けた温室効果ガスの削減目標が、「科学的根拠に基づいた目標」として認められたことにより、SBT イニシアティブ（※1）認定を取得いたしました。



サクラパックス株式会社は、国連グローバル・コンパクト（UNGC）、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）、CDP（※2）の4つの機関が共同で運営する、気候変動に具体的な対策を打ち出すための国際的なイニシアティブである、中小企業向け SBTi（Science Based Targets）の認定を取得いたしました。

近年、異常気象や干ばつ、森林火災、生物の絶滅などの気候変動に伴う災害が多発し、気候変動は国際社会における重大なグローバルリスクとして認識されています。

この問題解決に向けて SBTi で設定した温室効果ガスの排出量目標である「2030年の温室効果ガス排出量2022年度比42%削減」を達成し、さまざまな環境課題への対応を通じて、当社は人々と地球に健全で豊かな未来社会の形成に貢献して参ります。

※1・SBTi：SBT イニシアティブは「産業革命以降の地球の気温上昇を1.5℃に抑えること」の目標達成に向けて立ち上げられ2050年までのカーボンニュートラルを目標として取り組んでいます。最新の科学によれば、気候危機の被害を考慮するためには、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比較して1.5度に抑えることが重要である

ことがわかっています。1.5 度目標の達成には、世界全体で CO2 を 2030 年に半減、2050 年に実質ゼロにすることが必要です。2015 年に国連グローバル・コンパクト（UNGC）、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）、CDP※ 2 により設立された共同イニシアティブです。企業に対して科学的根拠に基づく目標（SBT: Science-based target）を設定することを支援し、適合していると認められる企業に対しては、SBT 認定を与えています。

・SBT：Science Based Targets（科学的根拠に基づく目標）とは、2015 年に採択されたパリ協定が定める産業革命前からの世界の気温上昇を 2°C 未満に抑え、1.5°C までに制限する取組みを推進する温室効果ガス排出削減目標。

※ 2・CDP：英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営しています。2000 年に発足した当初は「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（Carbon Disclosure Project）」が正式名称でした。現在は、グローバルな環境課題に関するエンゲージメント（働きかけ）の改善に努めてきました。日本では、2005 年より活動しています。

【会社概要】

- ・所在地 : 富山県富山市高木 3000 番地
- ・創業 : 昭和 22 年 5 月 20 日
- ・代表取締役社長 : 橋本 淳
- ・資本金 : 9,600 万円
- ・事業内容 : 段ボール製造販売ほか、各種包装資材等企画・設計・販売
- ・自社サイト URL : <https://www.sakura-paxx.co.jp/>

【本件に関するお問合せ先】

サクラボックス株式会社

- 所在地 / 〒930-0106 富山県富山市高木 3000 番地
- TEL（代表） / 076-436-6191
- 問合せ担当者 / 尾定 祐昭（携帯：090-8269-7282）・門脇 まで